

令和7年度川崎市総合防災訓練 会場設営運営等業務委託 仕様書

1 業務件名

令和7年度川崎市総合防災訓練 会場設営運営等業務委託

2 目的

川崎市（以下「発注者」とする。）が主催する「川崎市総合防災訓練」（第46回九都県市合同防災訓練川崎市会場）の運営・進行管理、設営及び撤去等を円滑に行い、訓練を事故なく万全に行うことを目的とする。

3 履行期間

契約日から令和7年9月30日（火）まで

4 訓練実施場所及び訓練時間

- (1) **自主防災組織活動訓練**、**避難所運営訓練**、**避難所医療訓練**、**救援物資緊急輸送訓練（到着）**、**啓発展示**

実施場所：川崎総合科学高校（幸区小向仲野町5-1）（別紙1、2参照）

訓練時間：令和7年8月31日（日）9:00～12:00

- (2) **道路啓開訓練**、**ライフライン復旧訓練**、**救出救護訓練**、**情報収集訓練**

実施場所：小向仲野町少年野球場、多摩川緑地（幸区小向地区）（以下、「多摩川河川敷会場」という。）（別紙1、3参照）

訓練時間：令和7年8月31日（日）10:30～12:30（閉会式を含む）

- (3) **救援物資緊急輸送訓練（出発）**

実施場所：幸区備蓄倉庫（幸区下平間357-3 幸区道路公園センター内）（別紙1参照）

訓練時間：令和7年8月31日（日）8:30～11:00

※実施場所については、変更する場合があります。

5 訓練の概要

各訓練の概要は次のとおりとする。なお、設営物等の詳細については、「6業務内容」で定める。

- (1) 自主防災組織活動訓練

災害発生直後を想定し、模擬構造物からの救出をはじめ地域住民による自主防災組織による共助の活動を実施する。

- (2) 避難所運営訓練

自主防災組織が中心となって川崎総合科学高校に避難所を開設するとともに、発災数日後を想定し、要配慮者やペット同行避難等への対応も含む避難所運営を行う。また、LPガスによる炊き出しを実施する。

- (3) 避難所医療訓練

医療スタッフによる避難所巡回を行い、体調を崩した避難者等への対応を行う。

- (4) 緊急物資輸送訓練

国からのプッシュ型支援が行われるとの想定のもと、トラックにより支援物資を避難所へ輸送する。

(5) 啓発展示

災害に関するパネル等の展示、ミニ講座を通じ、市民の防災意識を高める。

(6) 道路啓開訓練

道路をふさぐ多量の瓦礫や倒木を重機及び人力によって除去し、通行可能とする。

(7) ライフライン復旧訓練

電気、水道、ガス、電話の各ライフライン機関が模擬復旧作業を実施する。

(8) 救出救護訓練

模擬構造物等を配置した現場において、警察、自衛隊、消防が救出活動を行うとともに、医療チームによる救護活動を実施する。

(9) 情報収集訓練

発注者の消防ヘリが訓練会场上空を飛行する。

6 業務内容

(1) 業務の運営・進行管理

ア 発注者との協議の実施

受注者は、本業務委託を履行するに当たり、発注者との協議（打合せや現場確認等）を入念に行うこと。

イ 会場責任者の選任

受注者は、委託契約締結後、同種の防災訓練を担当した経験を有する会場責任者を最低1名決め、発注者（施設管理者含む）からの指示に迅速かつ的確に応えることのできる体制を整えること。また、会場責任者の氏名、緊急連絡先、業務分掌を示した組織体系図を作成し発注者に提出すること。

ウ 作業責任者の選任

(ア) 会場設営作業の指揮監督の任に当たる作業責任者1名を置くこと。

(イ) 作業責任者は、作業従事者及び訓練準備を行う参加機関等の安全確保に十分配慮し、設営中に事故等が発生した場合は速やかに対処すること。

(2) 会場の設営・撤去

ア 設営・撤去時期

各会場の設営・撤去については、原則として次の期間内に行うこと。

川崎総合科学高校（別紙2参照）

設営開始：令和7年8月30日（土） 9：00（予定）

設営完了：令和7年8月30日（土） 17：00（予定）

撤去開始：令和7年8月31日（日） 12：30 ※市担当者が訓練終了後に別途指示

撤去完了：令和7年8月31日（日） 18：00（予定）

多摩川河川敷会場（別紙3参照）

設営開始：令和7年8月30日（土） 10：30（予定）

設営完了：令和7年8月30日（土） 17：00（予定）

撤去開始：令和7年8月31日（日） 12：30 ※市担当者が訓練終了後に別途指示
撤去完了：令和7年8月31日（日） 18：00（予定）

イ 検査の実施等

- ・受注者は、設営後、速やかに発注者に報告し検査を受けること。検査により指摘された内容については、直ちに修正を行い、再検査を受けること。
- ・発注者への報告用として、事前・事後の写真による報告書を作成すること。
- ・撤去及び原状回復後は、速やかに発注者及び各施設管理者の検査を受けること。
- ・検査により、既存の建物施設や地面アスファルト等に設営に伴う損傷が認められた場合には、直ちに修復等の処置を行うこと。
- ・遊具、樹木等、設置物等の現状維持について、細心の注意を払うこと。

ウ 設営・撤去時の注意事項

- ・受注者は、訓練終了後、所定の期間内に設営物の解体撤去を行い、作業後は木片や釘その他訓練で使用したもの一切を残置しないこと。特に、川崎総合科学高校及び多摩川河川敷会場は、普段多くの乳幼児や児童・生徒が立ち入る場所であることから、細心の注意を払うこと。
- ・多摩川河川敷会場の隣接地に神奈川県川崎競馬組合の練習場が所在し、未明から午前10時まで競走馬の調教が行われるため、設営及び音響チェック等の大きな音の出る作業については午前10時以降の実施を厳守すること。
- ・撤去の際、会場整備に伴い移動した資機材等は従前の場所に戻すこと。
- ・車両の通行等により泥濘が生じた場合、必要に応じ原状回復を行うこと。
- ・多摩川河川敷会場に関する河川法上の一時使用届については、発注者が手続きを行う。

エ 各種設営物等の安全性等の確保

- ・受注者は、雨天や強風のほか、訓練の一環として消防局ヘリコプターが多摩川河川敷会場の上空を飛行し、さらに川崎総合科学高校会場屋上を離発着することに伴うダウンウォッシュの影響でテントや看板等が飛散することのないよう安全に配慮した設営を行うこと。また、その対応策については、事前に発注者に説明すること。
- ・各種設営物は崩壊・倒壊等の危険がないよう安全性に配慮した仕様とすること。
- ・設営時に発生する音等により、施設関係者や周辺住民等に迷惑がかからないよう十分に配慮すること。
- ・訓練中における視察者等の安全を確保するため、セーフティコーン等による安全防護措置を講じること。

オ 各種設営物の製作・調達

- ・受注者は、訓練の実施に必要な各種設営物の製作・調達を行うこと。なお、規格及び数量等は、別添「委託業務内容詳細」のとおりとする。

(ア) 川崎総合科学高校訓練用設置物

- ・模擬構造物、設置場所の詳細については（別紙2、4、12）を参照のこと。なお、地面に杭を打ち込むことができない現場のため、テント等の固定は重りを用いること。

(イ) 多摩川河川敷会場訓練用設置物

- ・模擬構造物、設置場所の詳細については（別紙3、5～8、12）を参照のこと。なお、

設置にあたっては散乱物対策としてブルーシート等で養生を行うこと。

(ウ) 看板

- ・ 訓練実施のために必要な事前周知看板、案内用看板、その他訓練に必要な看板の製作、設置、撤去を行うこと。
- ・ 事前周知看板（別紙9）については、令和7年8月22日（金）までに設置するものとする。（設置箇所については後日調整とする。）
- ・ 杭打ち等を行った場合、撤去時に原状復帰を行うこと。

(エ) 川崎総合科学高校会場及び多摩川河川敷会場における音響設備

- ・ 訓練実施中のアナウンス及び閉会式において、グラウンド内に音が届くよう音響機器を使用する。
- ・ 音響設備に関する業務については、訓練当日のオペレーションのほか、設営に必要な備品・消耗品類の用意、音響設備の現場設営、稼動確認、使用電源の確保、設営後の解体撤去、各会場の完全な原状回復を含むものとする。
- ・ 設営完了後は、速やかに発注者の担当者へ報告し、検査を受け、検査による指摘箇所が見つかった場合は、直ちに修復等の措置を行うこと。
- ・ 訓練当日、イベント音響の実務に習熟した技術者がこれらの機器を操作すること。
- ・ 両会場とも、敷地外への音漏れ等が極力少なくなるよう注意すること。

(オ) 駐車場区画の作成

多摩川河川敷会場の指示した場所（別途調整）に関係車両用の駐車区画を白線やコーンバー等で区切り作成すること。

(カ) 車両通行部分の養生

川崎総合科学高校会場東側入口（別紙2参照）及び多摩川河川敷会場の訓練車両通行部分（別紙3参照）について、グレーチング等を保護するための養生を行うこと。

場 所	養生材料	大きさ
川崎総合科学高校会場 東側入口	ゴム又は樹脂製敷板	幅4m×長さ2m程度
多摩川河川敷会場 車両通行部①	ゴム又は樹脂製敷板	幅4m×長さ2m程度
同 車両通行部②	鉄板	幅4m×長さ2m程度
同 車両通行部③	鉄板	幅6m×長さ2m程度

※現場の詳細については、別紙10参照

(キ) その他

その他発注者が指定する資機材の調達搬送、屋内会場の養生、立入り制限エリアへの表示等の設営・撤去を行うこと。

(3) 救援物資緊急輸送訓練の看板設置及び撤去

受注者は、救援物資緊急輸送訓練の看板（別紙9）を製作し、担当者の指定する日時及び場所において看板の設置、撤去を行うこと。

(4) 交通誘導業務

受注者は、関係車両の出入りにかかる事故を防止し、訓練を安全に実施するため次のとおり

交通誘導業務を実施すること。

ア 指定する場所（別紙1 1参照）に交通誘導員を配置すること。なお、この業務に従事するに当たっては、国土交通省が定める職種区分に基づく交通誘導員Bに相当する者を選任すること。

イ 業務の実施時間、場所及び人数は、次のとおりとする。従事時間中は各ポストに1名を配置し、必要に応じ休憩・交代に伴う交代要員を確保すること。

	会場区分	巡回区分	ポスト数	従事時間	備考
1	川崎総合科学高校会場	交通誘導	3	令和7年8月31日（日） 7：00～14：00	運営・撤去時
2	多摩川河川敷会場	交通誘導	3	令和7年8月30日（土） 10：00～18：00	設営時
			6	令和7年8月31日（日） 6：30～15：00	運営・撤去時

(5) 熱中症対策の実施

訓練参加者及び来場者の熱中症対策として、受注者は次のとおり業務を行うこと。

ア 熱中症対策用のクールスポットの設置

川崎総合科学高校及び多摩川河川敷会場のいずれも1箇所（詳細な場所は別途調整）に、四方幕付きのテント等を用いて5.4m×3.6m程度の日陰となるスペースを設置し、それぞれ次の物品を配置すること。

- ・折りたたみ椅子 8脚
- ・エアコン機器又はスポットクーラー 1台以上
- ・ミストファン 1台

イ 熱中症対策用アイスプールの設置

川崎総合科学高校会場の屋外に、ビニールプール（発注者が用意する。）を利用し、氷水を張ったアイスプール及び常温水を張ったプール各1基を設置するとともに、周囲に折りたたみ椅子及び荷物置き（机）を配置すること。

ウ その他スポットクーラー及びミストファンの設置

川崎総合科学高校会場の発注者が別途指示する場所に、スポットクーラー6台（アリーナ4台、屋外2台）及びミストファン1台（屋外）を設置すること。

エ 飲料水配布用容器の設置

来場者に配布する飲料水ボトル（発注者が用意する。）を冷却するため、150リットル程度の容器（どぶづけ）を川崎総合科学高校会場及び多摩川河川敷会場にそれぞれ2台ずつ配置し、氷水を張ったうえで飲料水ボトルを投入すること。なお、配布のための人員配置は不要とする。

オ かき氷プレゼントブースの運営

来場者の熱中症を防止するため、かき氷プレゼントブースを運営する。

(ア) 受注者は、かき氷器2台及び氷、シロップ、器、スプーン等300名分を用意し、かき氷を作り、来場者に提供する業務を行うこと。

(イ) かき氷の提供に関する保健所等との調整については、発注者が行う。

(6) 臨時救護所の設営

訓練中の負傷者や体調不良者の発生に備えた臨時救護所を川崎総合科学高校会場及び多摩川河川敷会場にそれぞれ設営する。なお、救護所の運営については発注者が行う。

ア 川崎総合科学高校会場の臨時救護所について、発注者が校舎内の空調設備の整った部屋を用意する。

イ 多摩川河川敷会場の臨時救護所については、発注者が指示した場所(別途調整)において、受注者が次に定める環境を整える。

(ア) 5.4m×3.6m程度のテント(四方幕付き)又はそれに類するものを設置する。床面にはブルーシート等を敷き、体調不良者が靴を脱いで横臥できるようにする。

(イ) テント内の暑熱対策としてエアコン機器又はスポットクーラーを、また、外部にミストファン1台を配置する。

ウ 応急手当に必要な物品については、次のとおりとする。

会場	物品名	数量	準備する者
川崎総合科学高校会場	救急セット(伸縮包帯、ネット包帯、三角巾、絆創膏、サージカルテープ、清浄綿、鼻用脱脂綿、消毒液、綿棒、体温計、冷却シート、人工呼吸時用一方弁付きマスク、添木、はさみ、爪切り、ピンセット)	1	発注者
	車いす	1	発注者
	AED	1	発注者
	瞬間冷却パック	10	受注者
	経口補水液	10	受注者
多摩川河川敷会場	救急セット(伸縮包帯、ネット包帯、三角巾、絆創膏、サージカルテープ、清浄綿、鼻用脱脂綿、消毒液、綿棒、体温計、冷却シート、人工呼吸時用一方弁付きマスク、添木、はさみ、爪切り、ピンセット)	1	発注者
	車いす	1	発注者
	AED	1	発注者
	瞬間冷却パック	10	受注者
	経口補水液	10	受注者

(7) 会場の清掃及び環境配慮事項

- ・受注者は、発生した廃材、ごみ等(参加者の持ち込みごみ含む)の処理を適正に行うこととする。
- ・ごみ対策として、ペットボトル、プラスチック、びん・缶、普通ごみの分別回収用ごみ箱一式を川崎総合科学高校会場に2箇所、多摩川河川敷会場に1箇所それぞれ設置すること。設置場所については、発注者担当職員の指示によるものとする。

- ・業務の実施に当たっては、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量化・再資源化に努めるとともに、環境関係法令の規則等を厳守すること。
- ・発注者への提出書類及び添付書類等については、原則として再生紙を使用すること。
- ・業務実施時に車両を使用する場合は、熱中症対策等のためやむを得ない場合を除き、アイドリングストップを徹底し、他者に運搬等を委託する場合においてもその周知に努めること。
- ・撤収作業終了後に、使用した施設の簡易清掃を実施すること。

(8) 保険への加入

訓練参加者等の訓練時における事故への適正な補償を行うため傷害保険等へ加入すること。

ア 加入保険

- ・全会場における訓練時の事故に対する補償のため、必要な保険に加入すること。
- ・加入期間については、令和7年8月31日(日)1日間とすること。
- ・補償内容については、次に記載する補償額以上のものとすること。
- ・保険対象人数が実際と著しく異なる場合には、追加加入の必要性等を発注者と協議すること。

保険の種目	保険の対象人数	補償内容	
訓練参加者傷害保険	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎総合科学高校 ・多摩川河川敷会場 ・緊急物資輸送の出発点 (救出救護訓練、避難所開設 運営訓練、緊急物資輸送訓練、 その他) 	500人	死亡・後遺症 500万円 入院日額 5,000円 通院日額 3,000円
訓練見学者傷害保険	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎総合科学高校 ・多摩川河川敷会場 (救出救護訓練、避難所開設 運営訓練、啓発ブース、その 他) 	500人	同上

イ 保険証券(写し)の提出

保険への加入後、速やかに保険証券の写しを発注者に提出すること。

(9) 会場案内チラシの作成

訓練会場で配布する案内チラシ(A4カラー両面印刷)1,000部を作成・印刷すること。なお、チラシの原稿データは発注者が支給するものとする。

(10) 連絡用トランシーバーの用意

訓練当日に発注者職員間の連絡に用いるため、IPトランシーバー・インカムセット(レンタル品で可)を20台用意すること。また、職員がトランシーバーの操作方法を習熟するため、事前に川崎市危機管理本部に納品すること。

(11) 訓練の中止・縮小について

本訓練は、実際の災害や台風、気象警報の発令等の場合に発注者の決定により中止・縮小することがある。その場合の違約金の額は、次の割合を基本として別途協議し決定する。また、下記以外の場合については別途協議によるものとする。

訓練実施日の14日前～8日前	総支払額の60%
訓練実施日の7日前～3日前	総支払額の80%
訓練実施日の2日前～当日	総支払額の100%

7 一般事項

- (1) 受注者は、本契約締結後、速やかに委託料金内訳書を提出すること。
- (2) 受注者は、発注者の求めに応じて業務の進捗状況等を報告すること。また、万が一、工程に遅れが生じた場合には、速やかに発注者に報告し、指示を仰ぐこと。
- (3) 受注者は、各訓練会場において関係者以外立入り禁止とされているエリアに無断で立ち入らないこと。
- (4) 業務の実施に必要な備品等は、発注者が提供するものを除き受注者が用意すること。
- (5) 受注者は、本業務を遂行するに当たって、市民サービスの提供者としてふさわしい言動や身だしなみに努めるとともに、関係法令を遵守し、市民の信頼を失うことのないよう細心の注意を払うこと。また、市民等からの意見には真摯に対応し、直ちに発注者に報告すること。
- (6) この仕様書に定めのない事項については、別途協議の上、定めるものとする。

委託業務内容詳細

※消耗品以外の物品、備考欄等に特記あるもの以外については、訓練終了後に受託者が撤去する。

会場設営関係

No.	項目/名称/規格	数量	単位	備考
1 会場設営関係				
避難所運営訓練会場(川崎総合科学高校)				
(1)	パイプテント(1.5間×2間)(三方幕無)	40	張	アナウンスブース含む 重り固定
(2)	会議用テーブル(1,800mm×450mm)	100	台	
(3)	ビニールクロス	100	枚	
(4)	パイプ椅子	260	脚	
(5)	音響設備(マイク2本、スピーカー4台)	1	式	ミキサー、オペレーター、発電機等の電源を含む
(6)	セーフティコーン	49	本	
(7)	コーンバー(L=1.5m)	50	本	
(8)	訓練看板(1,800mm×900mm)	2	枚	
(9)	事前周知看板、救援物資看板、各種訓練看板、駐車場等(1,800mm×450mm)	10	枚	
(10)	テント吊り下げ看板	50	枚	
(11)	会場誘導看板	8	枚	
(12)	東側入口車両通行部養生	1	式	ゴム又は樹脂製敷板 別紙10参照
(13)	1階床養生(シート含む作業費)	1	式	約50平方メートル
(14)	テーブル等消耗品	1	式	
初動対応訓練(別紙4参照)				
(1)	倒壊家屋	1	棟	
交通誘導員(別紙11参照)				
(1)	交通誘導員(制服警備)8月31日	3	名	8/31 7時から14時まで
小計				
救出救護訓練会場(多摩川河川敷)				
(1)	パイプテント(3間×2間)(三方幕無)	8	張	本部・アナウンスブース含む 固定は重り・杭いずれも可
(2)	会議用テーブル(1,800mm×450mm・クロスなし)	3	台	アナウンスブース用
(3)	パイプ椅子	204	脚	
(4)	音響設備(マイク3本、スピーカー5台)	1	式	ミキサー、オペレーター、発電機等の電源を含む
(5)	セーフティコーン	100	本	
(6)	コーンバー(2m程度)	50	本	
(7)	指揮台(観閲台W1,200mm×D900mm×H800mm)	1	台	
(8)	訓練看板(1,800mm×900mm)	1	枚	
(9)	事前周知看板、救援物資看板、各種訓練看板、駐車場等(1,800mm×450mm)	10	枚	
(10)	車両通行部①養生	1	式	ゴム又は樹脂製敷板 別紙10参照
(11)	車両通行部②養生	1	式	鉄板 別紙10参照
(12)	車両通行部③養生	1	式	鉄板 別紙10参照
Aサイト(別紙6参照)				
(1)	倒壊模擬家屋(W5,000mm×D3,000mm×H2,000mm)	1	棟	地面をブルーシートで養生する
(2)	瓦礫(コンクリート片、木材等2t)	1	式	
Bサイト(別紙7参照)				
(1)	傾斜模擬家屋(W4,000mm×D4,000mm×H3,000mm)	1	棟	地面をブルーシートで養生する
(2)	瓦礫(コンクリート片、木材等2t)	1	式	
Cサイト(別紙8参照)				
(1)	廃車車両(搬入・搬出費含む、車種は問わない)	2	台	地面をブルーシートで養生する
(2)	電柱(5,000mm程度)	1	本	コンクリート製でも木製でも可
道路啓開サイト(別紙5参照)				
(1)	瓦礫(コンクリート片、木材等2t)	1	式	地面をブルーシートで養生する
交通誘導員(別紙11参照)				
(1)	交通誘導員(制服警備)8月30日	3	名	8/30 10時から18時まで

(2)	交通誘導員(制服警備)8月31日	7	名	8/31 6時30分から15時まで
小計				
2 共通資機材等				
その他				
(1)	IPTランシーバー、インカムセット(事務局員連絡用)	20	台	事前に危機管理本部へ
(2)	会場案内パンフレット	1000	枚	原稿を市から支給しカラー印刷
小計				

No.	項目/名称/規格	数量	単位	備考
3 保険関係				
(1)	レクリエーション傷害保険加入 (訓練参加者500人、一般参加者500人) 保険期間 令和7年8月31日(日)1日間	1	式	死亡後遺症 500万円 入院保険金 5,000円/日 通院保険金 3,000円/日
小計		1	式	

No.	項目/名称/規格	数量	単位	備考
4 熱中症対策・救護所				
(1)	どぶ付け(飲料冷却ボックス)150L	4	台	川崎総合科学高校・多摩川河川敷各2台
(2)	氷(どぶ付け用)	12	貫	訓練開始前に投入
(3)	スポットクーラー	6	台	川崎総合科学高校6台
(4)	ミストファン	1	台	川崎総合科学高校グラウンドに設置
(5)	熱中症対策テント(3間×2間)(四方幕有)	2	張	高校1張は重り固定、河川敷1張は重り・杭いずれも可
(6)	パイプ椅子	16	脚	熱中症対策テント用
(7)	エアコン(1馬力 各1台)	2	台	発電機等の電源含む
(8)	ミストファン(各1台)	2	台	エアコンと電源共用可
(9)	氷(アイスプール用)	4	貫	プールは発注者が用意する
(10)	パイプ椅子	12	脚	アイスプール用
(11)	会議用テーブル(1,800mm×450mm)	4	台	アイスプール用
(12)	ビニールクロス	4	枚	アイスプール用
(13)	かき氷器	2	台	発電機等の動力源含む
(14)	かき氷用氷 300人分	1	式	
(15)	かき氷(カップ等消耗品)300人分	1	式	作成・配布スタッフ込み
(16)	救護所用テント(3間×2間)(四方幕有、床面シート敷)	1	張	多摩川河川敷 固定は重り・杭いずれも可
(17)	会議用テーブル(1,800mm×450mm・クロスなし)	2	台	多摩川河川敷会場救護所用
(18)	パイプ椅子	8	脚	多摩川河川敷会場救護所用
(19)	エアコン(1馬力 各1台)	1	台	発電機等の電源含む
(20)	ミストファン(各1台)	1	台	エアコンと電源共用可
(21)	救護所用消耗品	1	式	川崎総合科学高校及び多摩川河川敷会場の各救護所に瞬間冷却バック及び経口補水液を10個ずつ配置。未使用分は発注者に納品
小計		1	式	

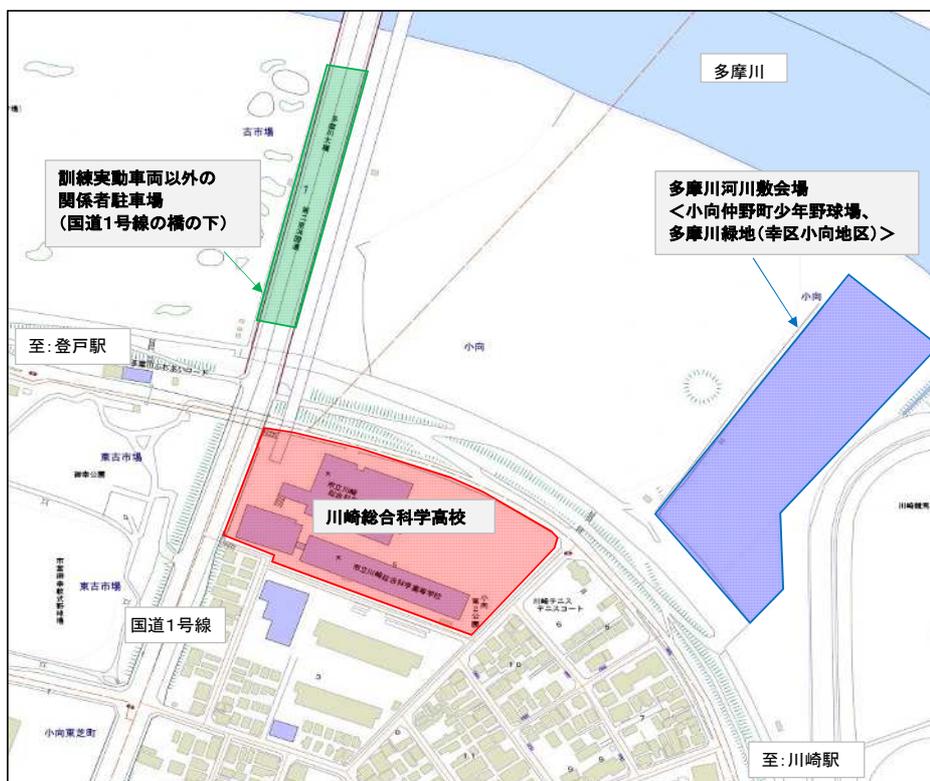
No.	項目/名称/規格	数量	単位	備考
5 設営・撤去・運営管理費				
(1)	資機材調達費	1	式	リース品は損料または賃料込み額含む
(2)	設営撤去費	1	式	処分費・運搬費込み
(3)	その他運営管理経費	1	式	管理販売費等含む
小計		1	式	

以下余白

訓練会場全体図

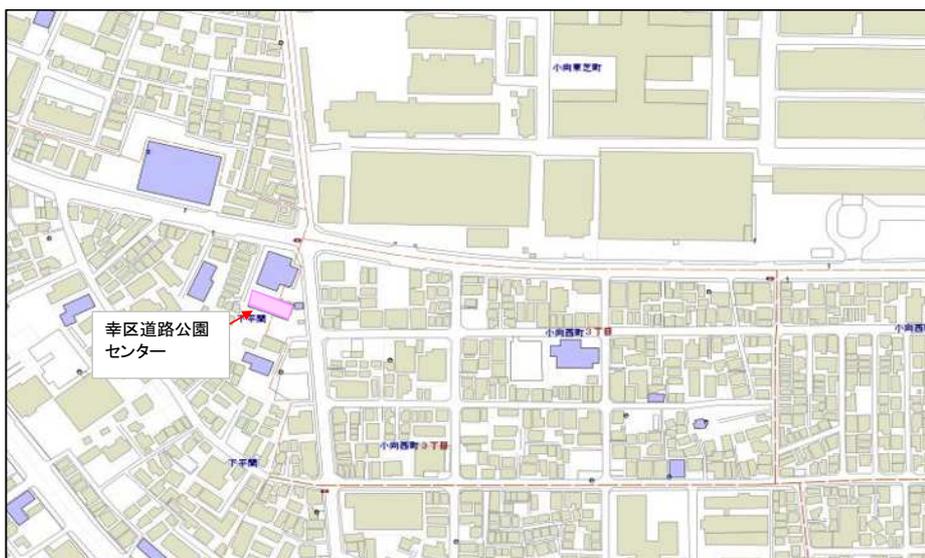
【別紙1】

- 1 川崎総合科学高校会場
- 2 多摩川河川敷会場



川崎総合科学高校(幸区小向仲野町5-1)

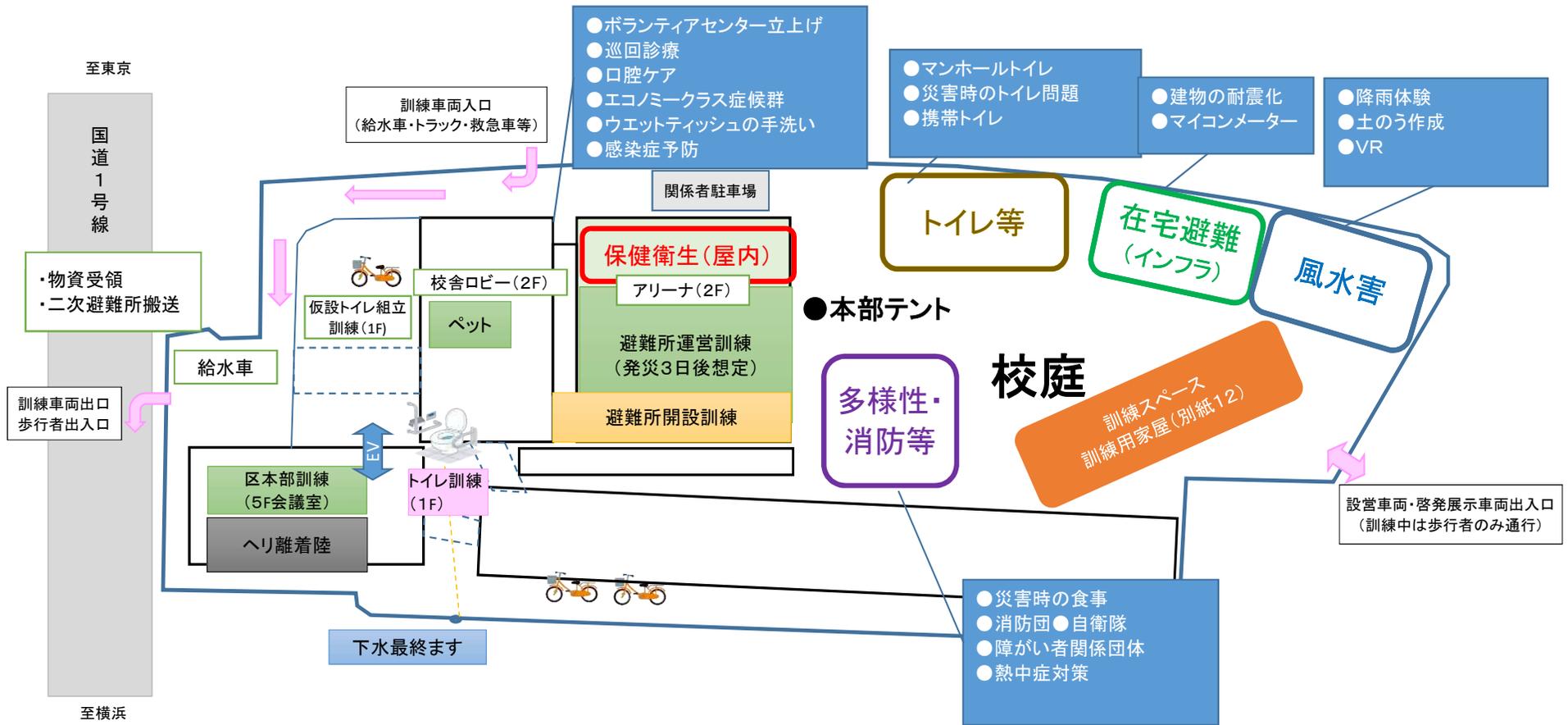
3 緊急物資輸送会場



幸区備蓄倉庫(幸区下平間357-3 幸区道路公園センター内)
※物資拠点には川崎市内の別の施設に変更になる場合もあります。

川崎総合科学高校会場

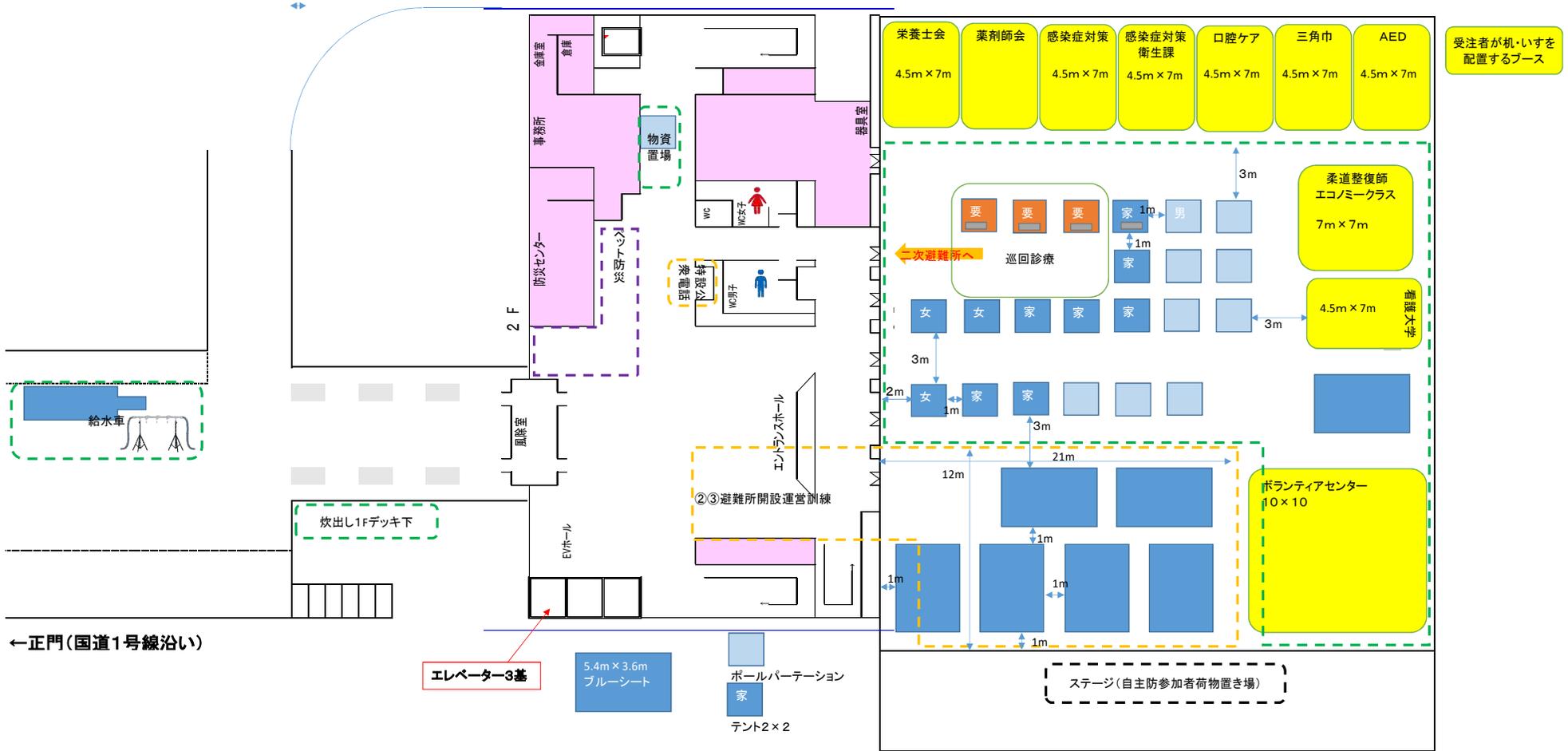
【別紙2】



※看板の設置箇所については後日調整とする。

川崎総合科学高校会場 校舎2階及び屋外正門周辺
 (避難所開設運営訓練、避難所医療訓練、
 緊急物資輸送訓練、屋内啓発ブース等)

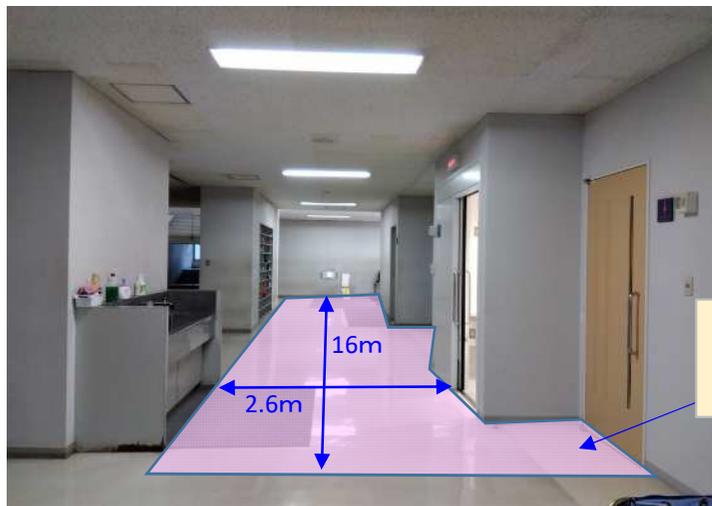
【アリーナ内の設営について】
 受注者は、訓練前日に啓発ブース及びボランティアセンター部分に机・いすを配置し、発注者担当職員が指示する場所にスポットクーラー4台を配置すること。
 ※避難所部分のブルーシート・テント類は、発注者の備蓄物資を用いて、当日に訓練参加者たちが設置する。



川崎総合科学高校会場 校舎1階

①トイレ回りの養生

訓練参加者が靴を履いたまま
トイレに行けるよう床を養生



トイレ入口への出っ張り部分も
含め約50㎡

トイレ内(男・女・バリアフリーの3か所)には、
発注者が靴の上から履けるスリッパを用意する

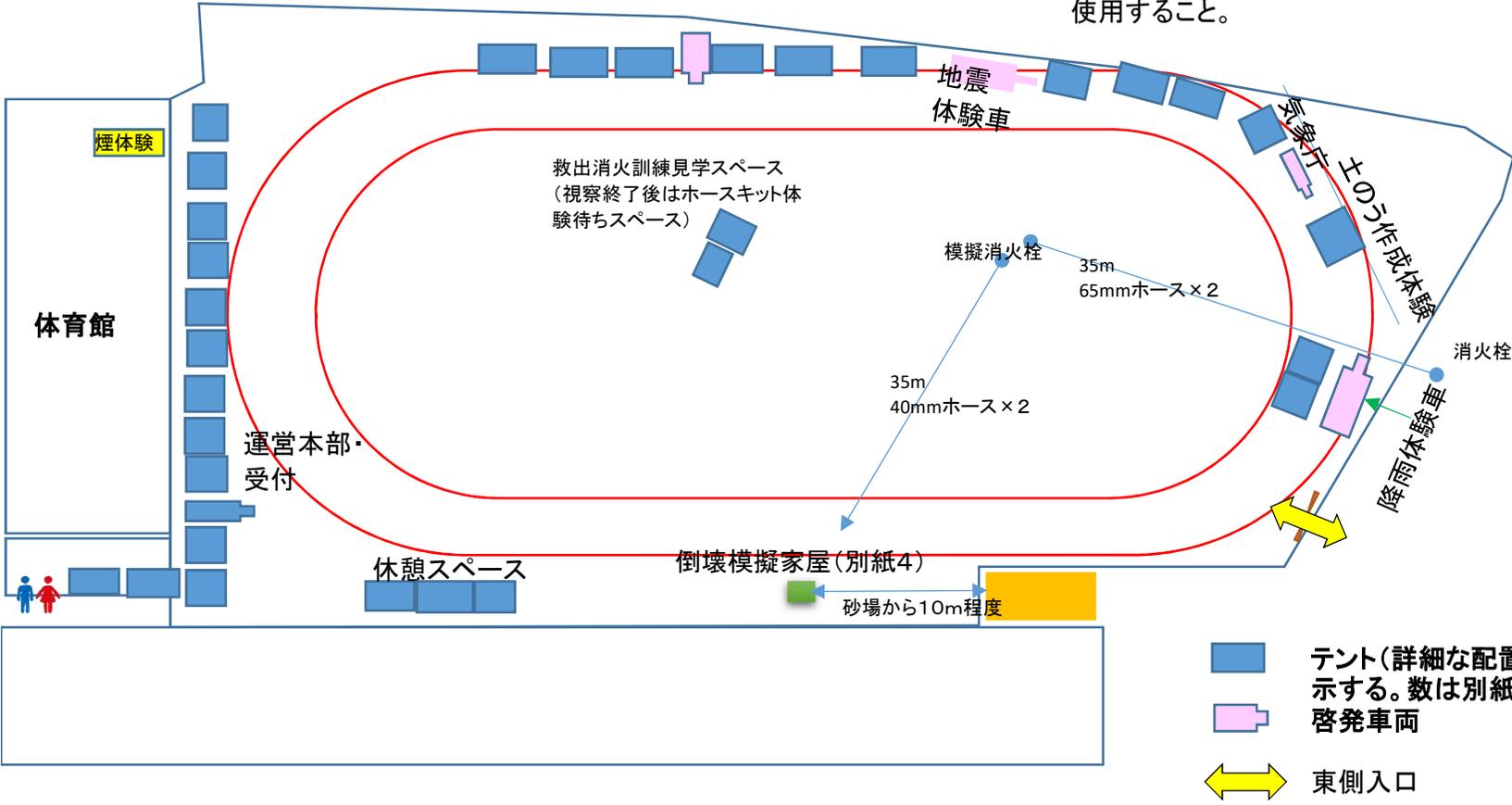
②休憩用いすの配置



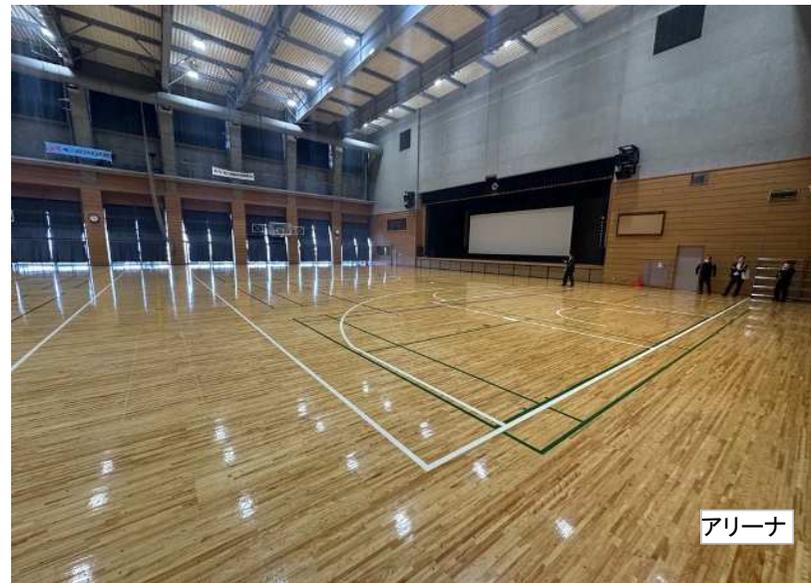
ロビーに休憩用の折りたたみ椅子を配置する

川崎総合科学高校会場 グラウンド配置イメージ

校庭のブースは2間×1.5間のテントを用いて設営する。
杭打ちができない場所のため、テントの固定には重りを使用すること。



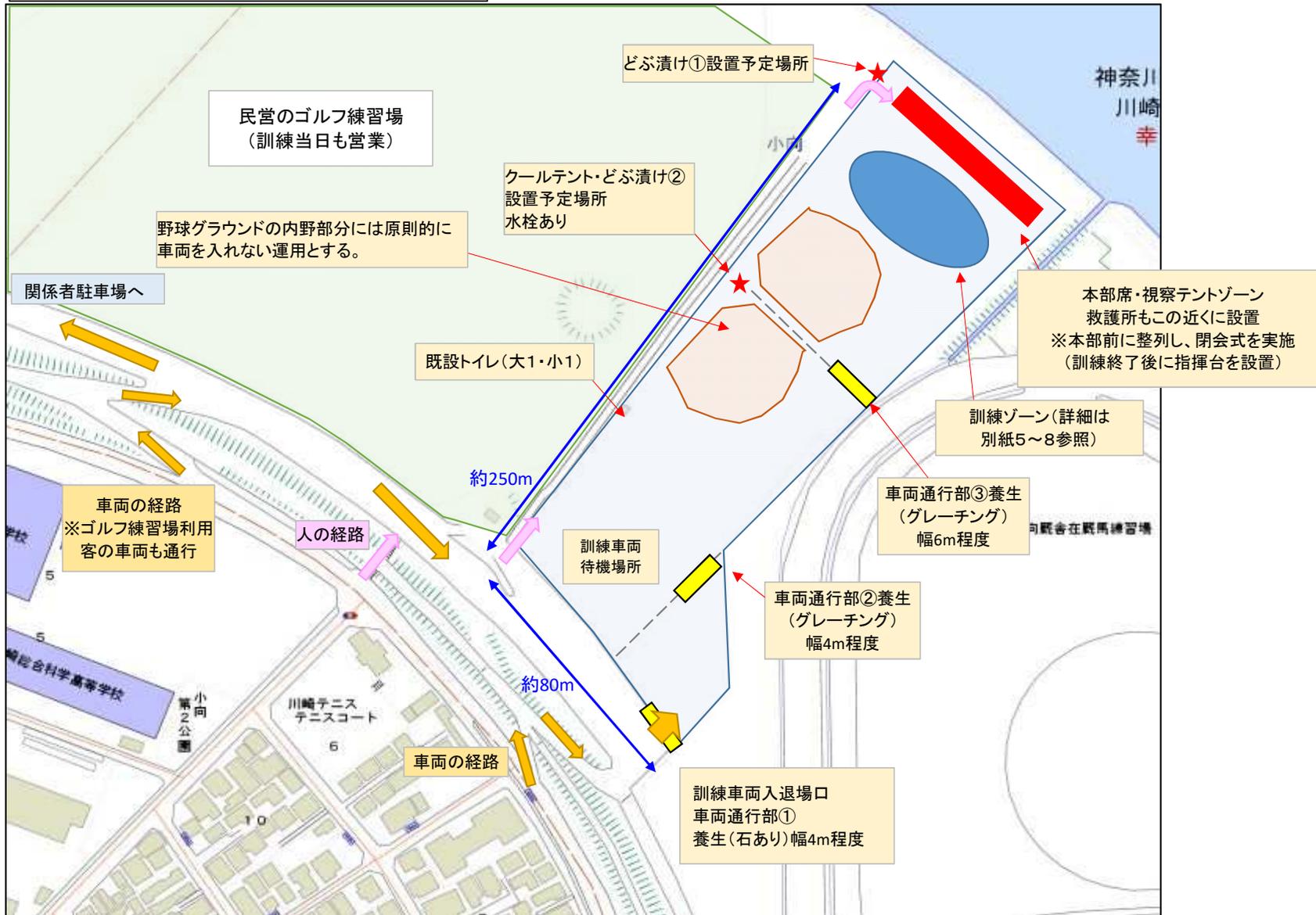
川崎総合科学高校会場 参考写真



多摩川河川敷会場

※河川敷のため、電線や下水道が敷設されていない。業務に必要な電源を受注者が持ち込むこと。

【別紙3】

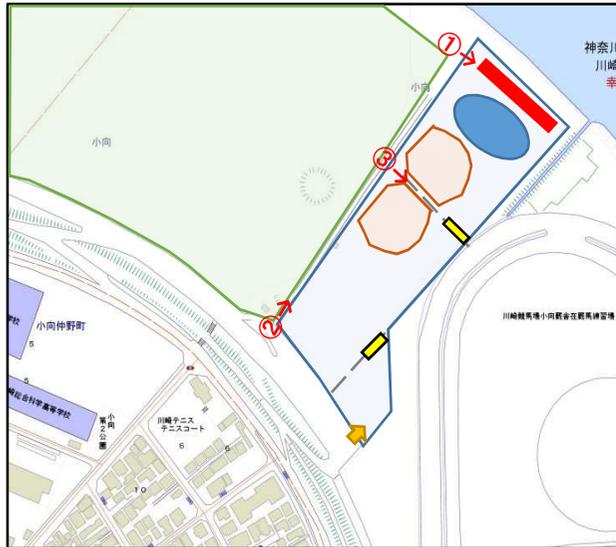


多摩川河川敷会場 参考写真

会場遠景



多摩川河川敷会場 参考写真



①本部席・視察テント
訓練ゾーン



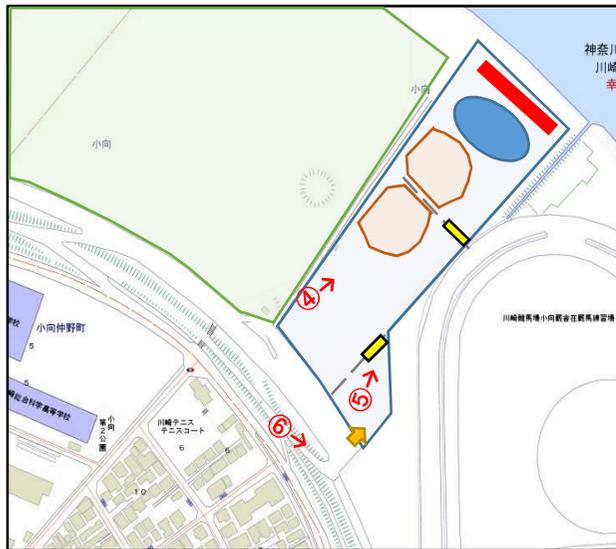
②視察・見学者通路



③クールテント・どぶ漬け②
設置予定場所
※クールテントは右側のグラウンド内野部分
とする可能性もある



多摩川河川敷会場 参考写真



④既設トイレと水栓
※訓練当日のトイレについては、
別途調整予定



⑤訓練車両は手前から枯草・砂のゾーン
に入って待機し、奥の訓練ゾーンへ進む
※冬季に撮影



⑥車両が河川敷へ降りるスロープ
大きくUターンしている通路の間の場所を
関係者駐車場とする

多摩川河川敷会場 参考写真



川崎総合科学高校 訓練用設置物

●訓練イメージ

- ・壁の切り欠き部にジャッキを差し込んだり、屋根のすき間からバールでこじ開けるなどして中のダミー人形を救助します。
- ・屋根には登りません。

●訓練用設置物イメージ

- ・下記設置物を校庭に1棟
- ・瓦礫は不要



道路啓開訓練(多摩川河川敷会場)

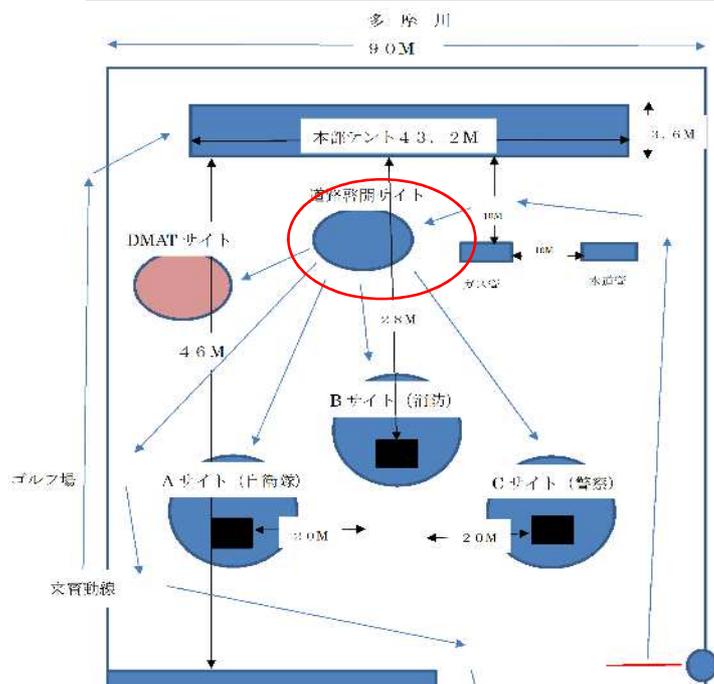
【別紙5】

道路啓開サイト

想定:地震により倒壊した建物等の瓦礫により交通障害が発生。ローダー車や作業員等で構成される道路啓開部隊により交通障害を排除する。

必要資材

- ・瓦礫(コンクリート片、木材等) 合計2トン

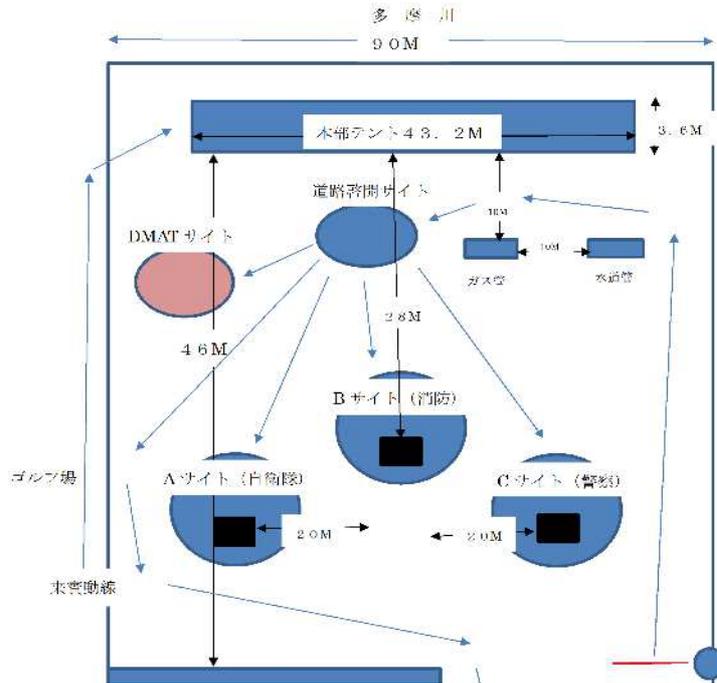


道路啓開・参考



救出救護訓練 (Aサイト)

【別紙6】



自衛隊担当

訓練時間 2.2分

- 1 周囲の民間人の避難・誘導
- 2 建物前にある倒木、ガレキを排除
- 3 要救助者①を救出
- 4 民間人からはしごを借用し屋根上へ
- 5 屋根をチェーンソーで切断
- 6 屋内にいる要救助者②を徒手で救出

②生体 (家屋の中)

①訓練人形

救出救護訓練 (自衛隊) Aサイト建屋

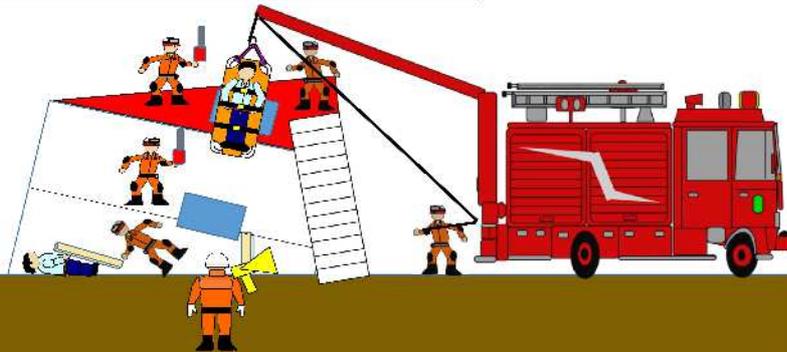
屋根の上に成人男性が5名乗れる強度が必要

丸太、角材、コンクリート等のガレキ (倒壊家屋の意が読める程度)

救出救護訓練(Bサイト)

- 1 単はしごを使用し屋根に上がり、チェーンソーで屋根を開く
- 2 建物内に進入後、レスポーターで2階の床に開口部を作成し1階の要救助者1名を発見
- 3 1階の要救助者を2階で舟型担架に収容
- 4 車両クレーンを支点とし要救助者1名を単はしごを使用し介添えで屋外に救出

訓練時間 20分

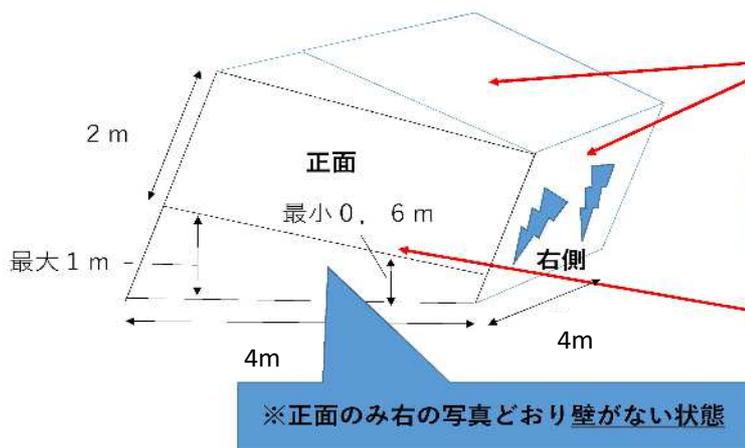


建物イメージ

こちらの屋根より
浅い角度に



※左側、裏面も同様の作り



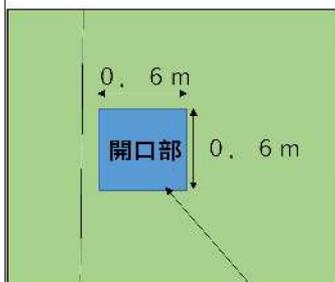
イメージ写真



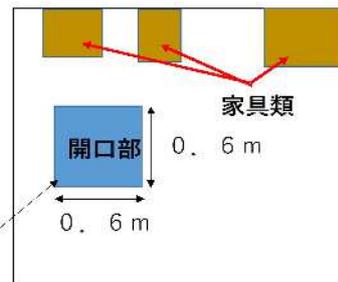
イメージ写真



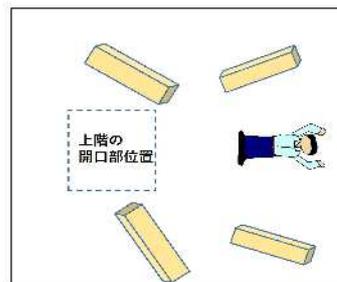
イメージ写真



屋根



2階



1階

※開口部作成付近に梁などの柱を作らないでください。

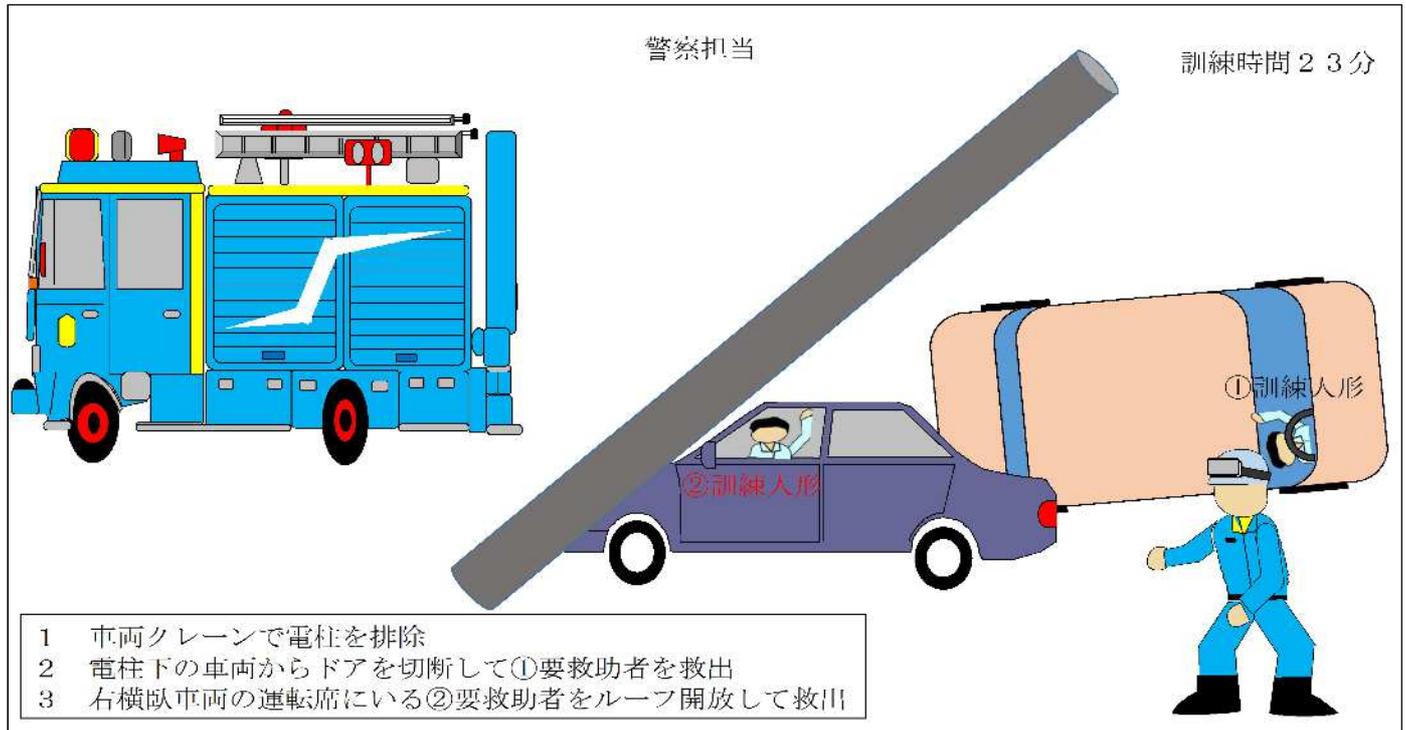
救出救護訓練(Cサイト)

Cサイト

地震により倒壊した電柱が車両に衝突。大型油圧救助器具等で車両の天井を開放し要救助者(警察が用意するダミー人形)を救出。

※電柱は5m程度(廃材、持ち運び可能な長さ)

※廃車車両は2台、オイル等及びガラスを取り除いた状態で配置すること。



訓練使用立看板一覧

【別紙9】

	規格 単位mm	数量	種別
①	1800×900(脚300)	3	訓練看板
②	1800×450(脚300)	20	事前周知看板、救援物資看板、各種訓練看板、駐車場等
③	250×600	50	テント吊り下げ看板
④	420×297	8	会場誘導看板

① 訓練看板

**令和7年度
川崎市
総合防災訓練**

**第46回
九都県市合同防災訓練
川崎市会場**

**日々の備えが
命綱**

8月30日～9月5日
「防災週間」


 KAWASAKI CITY


 幸区
Saiwai Word

900mm

1800mm

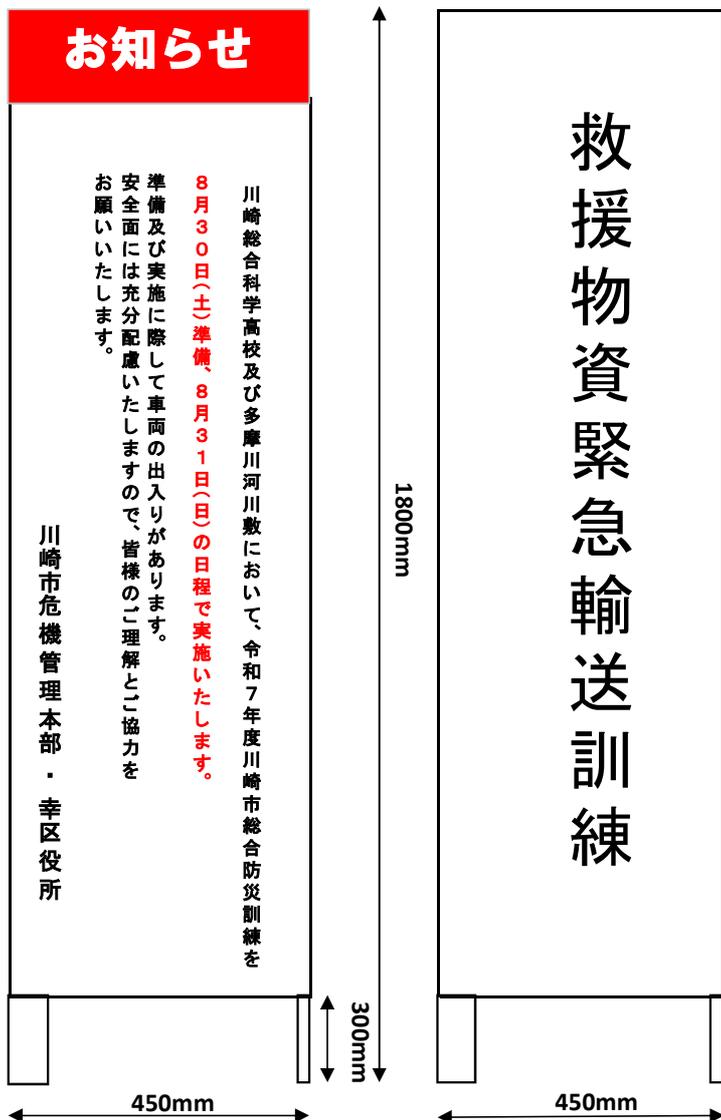
300mm

サイズ	1800×900(脚300)
材質	枠及び脚……木材 看板面……布
文字	ゴシック体を基調に、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用 文字色……指定色 文字バランス…左記を参照
シンボルマーク	JPGデータ使用(市提供)
設置場所	多摩川河川敷 1枚 川崎総合科学高校 2枚

②事前周知看板、救援物資看板、各種訓練看板、駐車場等

(例)事前周知看板

(例)救援物資、各種訓練、駐車・駐輪場 看板



サイズ	1800×450(脚300)
材質	枠及び脚……木材 看板面……厚紙
文字	ゴシック体を基調に、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用 文字色……指定色

種別	設置場所	数量
事前周知看板	多摩川河川敷、学校周辺	3
救援物資輸送看板	学校、緊急物資輸送会場	2
各種訓練案内	川崎総合科学高校校庭、学校内	10
駐車・駐輪案内	多摩川河川敷、学校	4
トイレ案内	多摩川河川敷	1

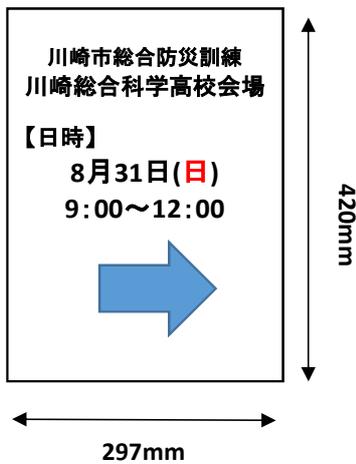
③ テント吊り下げ看板



テント吊り下げ看板

サイズ	250×600
材質	スチレンボード等の軽量素材
文字	ゴシック体を基調に、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用 文字色……指定色

④ 会場誘導看板



会場誘導看板

サイズ	420×297
材質	スチレンボード等の軽量素材又は紙に印刷シラミネート加工
文字	ゴシック体を基調に、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用 文字色……指定色

種別	設置場所	数量
テント吊り下げ看板	川崎総合科学高校校庭	50
会場誘導看板	会場周辺	8

養生が必要な場所

【別紙10】



川崎総合科学高校 東側入口

養生が必要な場所



多摩川河川敷会場 車両通行部①
(2枚とも)

車両を出入りさせる境界部分の一部に石やコンクリートがあるため、通行可能ルートを示すと共にタイヤ等を保護するため養生をする。



養生が必要な場所

多摩川河川敷会場 車両通行部②



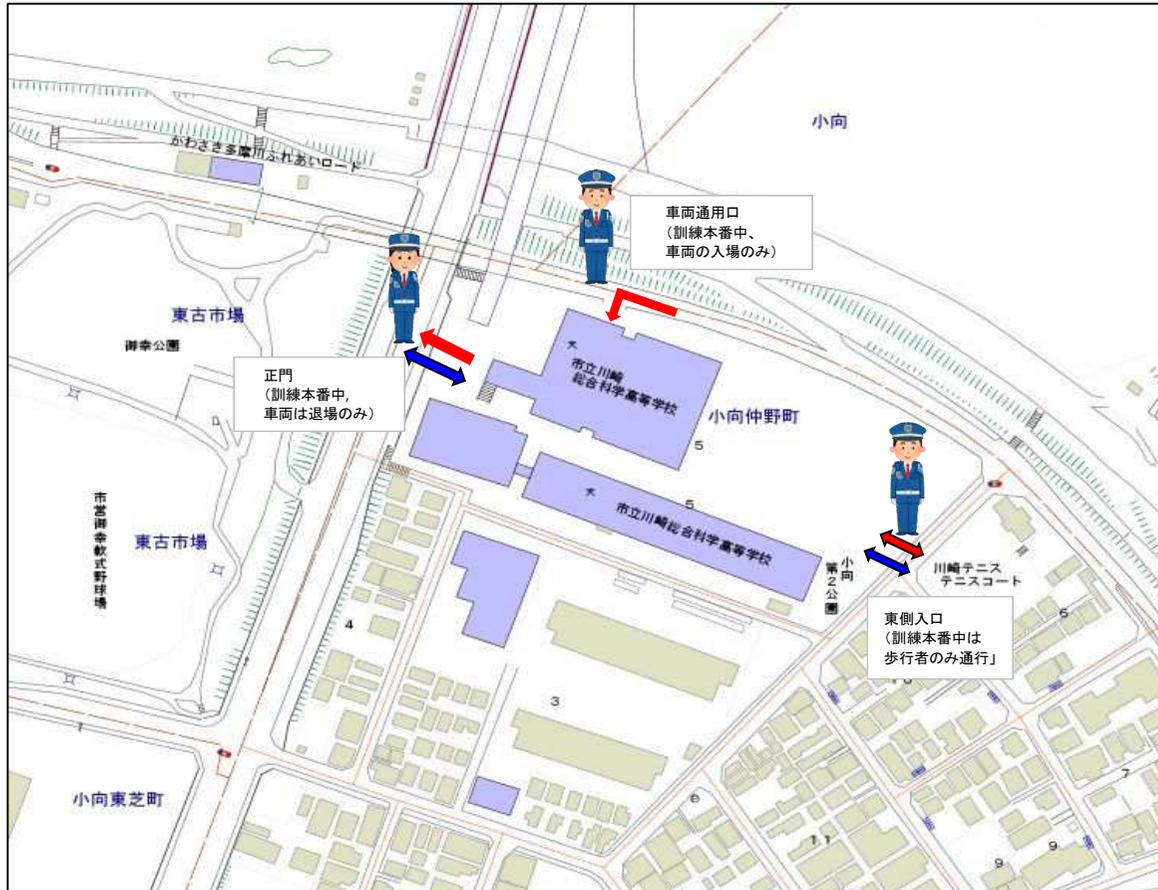
谷状に低くなっているグレーチング部分を消防車等の大型車両が安全に通行できるよう、鉄板で養生をする。
なお、車両通行部③は入場車両と退場車両がすれ違う可能性があるため、幅6mとする。

多摩川河川敷会場 車両通行部③



警備配置図（川崎総合科学高校）

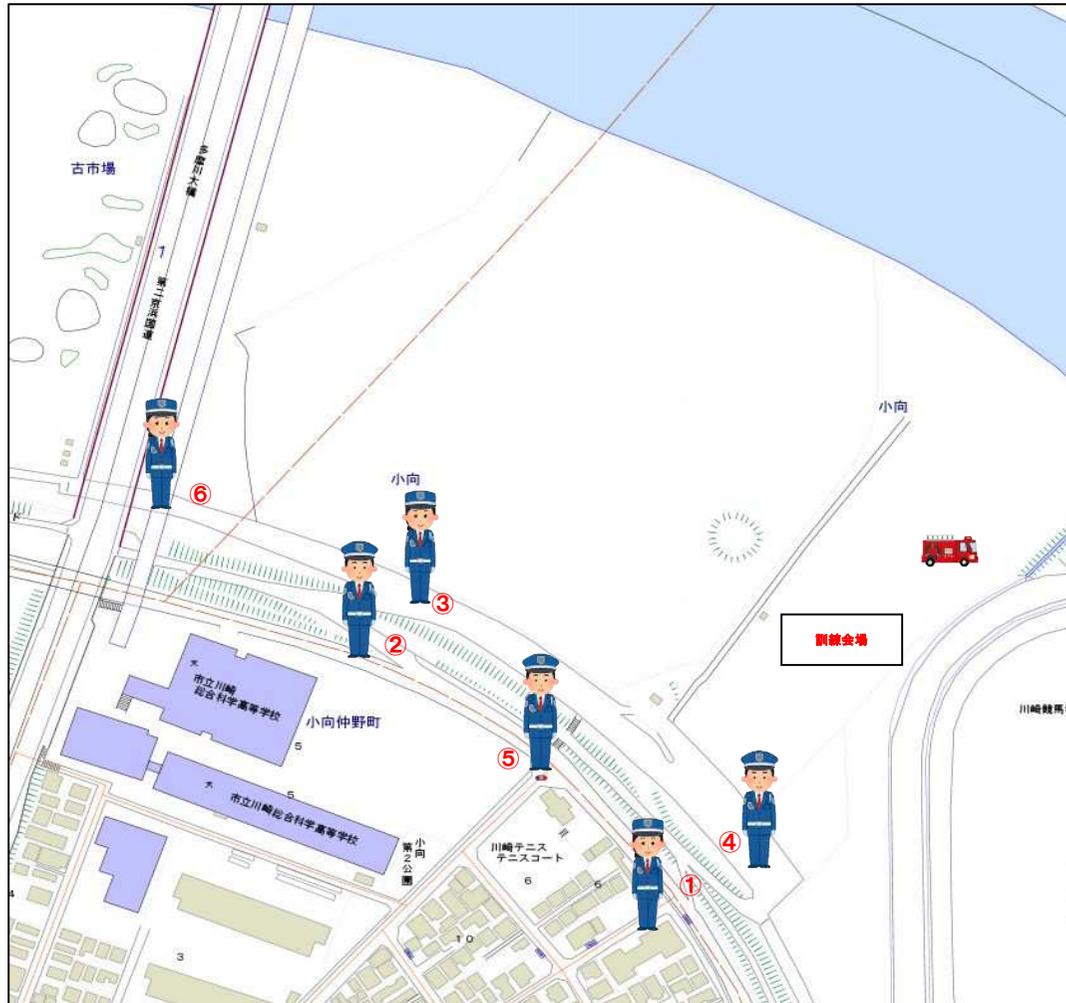
【別紙11】



 : 車両通行
 : 人通行

【ポスト数】
 8月31日(日) 7時から14時まで
 正門 1
 車両通用口 1
 東側入口 1 合計 3

警備配置図（多摩川河川敷会場）



 : 車両通行
 : 人通行

【ポスト数】
 8月30日(土) 10時から18時まで①～③
 8月31日(日) 6時30分から15時まで①～⑥

多摩川河川敷 使用テント・机・椅子等詳細

テント位置	名称	使用テント	テーブル(クロスなし) (1800mm×450mm)	いす
視察場所	観覧ブース	3間×2間 7張	0	196
本部・アナウンスブース	アナウンスブース(音響卓用含む)	3間×2間 1張	3	8
救護所	救護所用テント	3×2間 1張(四方幕、床シート有) エアコン1台、ミストファン1台	2	8
クールスポット	熱中症対策用大型テント	3間×2間 1張(四方幕有) エアコン1台、ミストファン1台	0	8
計			5	220

川崎総合科学高校 使用テント・机・椅子等詳細

テント位置	名称	使用テント	テーブル(クロス有) (1800mm×450mm)	いす
啓発ブース(屋外)	グラウンド内 展示ブース	2間×1.5間 30張	60	120
啓発ブース(屋内)	アリーナ内 展示ブース	なし	20	40
運営本部・受付	グラウンド内 本部エリア	2間×1.5間 10張	20	40
休憩所(各所に分散配置)	休憩所(※)	なし	0	60
クールスポット	熱中症対策用大型テント	3間×2間 1張(四方幕有) エアコン1台、ミストファン1台	0	8
アイスプール	グラウンド内 アイスプール	なし	4	12
計			104	280